

保証書

家庭用

コーヒーメーカー保証書

持込修理

取扱説明書・本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。この製品は持込修理対象製品ですので、郵送などで修理依頼された場合の送料などはお客様負担となります。

型 名	EC-RS40		修理メモ
※お客様	お名前	電話番号	
	ご住所 〒		
	※お買い上げ日 年 月 日	※販売店名・住所・電話番号	
	保証期間 お買い上げ日より 本体1年		

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ご転居・ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りや不当な修理・改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害・塩害・虫害・ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧・指定外の使用電源(電圧・周波数)などによる故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外(たとえば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 車両・船舶などに搭載された場合の故障および損傷。
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
 - (チ) 消耗品などの交換。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

- お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます場合がございますので、ご了承ください。
- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社

〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 電話(06)6356-2451



コーヒーメーカー

珈琲通®

型名EC-RS40 型

取扱説明書



- このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

保証書つき

もくじ

お使いになるまえに

- 安全上のご注意 2
- 各部のなまえ 5
- 各部のつけ方・はずし方 8

使い方

- 使い方 11

お手入れ

- お手入れ 20
- クエン酸洗浄のしかた 23

困ったときに

- 故障かなと思ったとき 24
- 部品の交換・購入について 26
- アフターサービス 26
- 仕様 27
- お客様ご相談窓口 27
- 保証書 裏表紙

愛情点検

長年ご使用のコーヒーメーカーの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- ご使用中、コード・差込みプラグが異常に熱くなる
- 焦げくさいにおいがする
- 製品の一部に割れ・がたつき・緩みがある
- その他の異常や故障がある

ご使用
中止

こんな症状のときは、故障や事故防止のため、使用を中止し、コンセントから差込みプラグを抜いて、必ず販売店に点検(有料)をご相談ください。

EC-RS 型 N-ⒻⒺ

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

 警告 死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。	 注意 軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。
■お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。	
 してはいけない「禁止」内容です。	 実行しなければならない「指示」内容です。

警告

 分解禁止 改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。 火災・感電・けがの原因になります。 修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。	 禁止 交流100V以外では使用しない 火災・感電の原因になります。
 水ぬれ禁止 本体を水に浸けたり、水をかけたりしない ショート・感電の原因になります。	 コードを傷つけない 無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。
 液体禁止 コードや差し込みプラグを液体に浸けたり、液体をかけたりしない ショート・感電の恐れがあります。	 必ず実施 差し込みプラグは根元まで確実に差し込む 感電・ショート・発煙・発火の原因になります。
 ぬれ手禁止 ぬれた手で差し込みプラグを抜き差ししない 感電・けがの恐れがあります。	定格15A以上のコンセントを単独で使う 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります。
 接触禁止 蒸気口に触ったり、手や顔を近づけない やけどの恐れがあります。 特に乳幼児には触らせないようにご注意ください。	差し込みプラグの刃(プラグの先端)および刃の根元にほこりが付着している場合は、よくふく 火災の原因になります。
 禁止 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない やけど・感電・けがの恐れがあります。	異常・故障時には、直ちに使用を中止する そのまま使用すると発煙・発火・感電・けがの原因になります。 <異常・故障例> ●コードや差し込みプラグが異常に熱くなる ●コードに深い傷や変形がある ●焦げくさいにおいがする ●製品の一部分に割れ・がたつき・緩みがある ●コードを動かすと、通電したりしなかったりする ●スイッチを入れても動かない ●本体から水漏れする ●蒸気口以外の場所から水や蒸気が漏れる ●本体が変形したり、異常に熱くなる このような場合は、すぐに差し込みプラグを抜いて、販売店に必ず点検・修理を依頼する
 ステンレスサーバーやカップ・ステンレスマグなしで使わない やけどの恐れがあります。	
 コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。	

●お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

注意

 接触禁止 使用中や使用後しばらくは高温部(シャワードーム・ミルクケースふた・スイングバスケットなど)に手を触れない やけど・けがの恐れがあります。	 禁止 ドリップ中は水をつぎ足さない コーヒーがあふれて、やけどの恐れがあります。
 禁止 熱に弱い敷物の上では使用しない 火災の原因になります。	水タンクに水を入れて取りつけたあとは、本体からはずしたり、動かしたりしない やけど・水漏れ・故障の原因になります。
不安定な場所では使用しない やけど・けがの恐れがあります。	本体の刃は鋭利なため、手を入れたり触れたりしない コーヒー豆やコーヒー粉を取り除くときは、必ず付属のブラシを使用する けがの恐れがあります。
ステンレスサーバーやカップ・ステンレスマグを載せたまま本体を動かさない やけど・けがの恐れがあります。	 プラグを抜く 使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜く けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
壁や家具の近くで使わない 蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。	 必ず実施 お手入れは冷めてから行う 高温部に触れ、やけどの恐れがあります。
ドリップ中にステンレスサーバーやカップ・ステンレスマグをはずさない やけどの恐れがあります。	差し込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜く 感電・ショート・発火の原因になります。
火気の近くで使用しない 火災の原因になります。	

お願い

■本体・ステンレスサーバーを電子レンジで使ったり、直火(ガス台など)や電気ヒーター・IH調理器・IHクッキングヒーターなどの上に載せない 発煙・発火・とっ手の変形・金属部から火花が飛び散る原因になります。	■続けて運転する場合は、スタートランプが消灯した状態で5分以上待つ 本体が熱いうちに給水したり動かしたりすると、蒸気口から突然蒸気や熱湯が出て、やけどの恐れがあります。また、連続してコーヒー豆を挽くと内部モーターの故障の原因となります。
■水タンクに水以外のものを入れない 牛乳・酒・コーヒー・湯など、水以外のものを水タンクに入ると故障の原因になります。	■ステンレスサーバーは、落としたり、固いものにぶつけたりしない 樹脂部分が破損したり、ステンレスサーバー表面がへこみ、保温性能が低下することがあります。
■他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない 蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。	■空だきはしない 水タンクに水を入れずに通電すると、故障の原因になります。

安全上のご注意 つづき

お願い

■屋外で使用しない 故障の原因になります。	■使い終わったら、必ず差込みプラグをコンセントから抜く 長時間通電を繰り返されると故障の原因となり、異常加熱や発煙する場合があります。
■使用中や使用後しばらくはスイングバスケットの下に手を入れない 湯沸かし中やミルクケースふたの開閉などで湯が垂れて、やけどの恐れがあります。	■ミルクケースにコーヒー豆以外のものを入れない 故障の原因になります。
■カーペット・布製のテーブルクロスの上では使用しない コーヒーが飛び散る恐れがあります。	■受皿やトレイをはずして使用しない やけどの恐れがあります。
■持ち手以外を持って本体を持ち運ばない	■ステンレスサーバー外側の底に貼っている底シールは絶対にはがさない さびや穴あきなど故障の原因になります。 
■水にぬれた場所で使用しない 感電の恐れがあります。	■ドリップ直後にステンレスメッシュフィルターまたはペーパーフィルターを直接触らない やけどの恐れがあります。
■ステンレスサーバーを倒したり、レバーを押したまま持ち運びしない 内容物が漏れて、やけどの恐れがあります。	■使用中にミルクケースふたやスイングバスケットを開けない やけどの恐れがあります。
■細挽き粉を使用しない コーヒーがあふれて、やけどの恐れがあります。	■ステンレスサーバーをドリップ以外の目的で使用しない。特に次のものは絶対に入れない ●ドライアイス・炭酸飲料など ステンレスサーバー内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、サーバーふたセットが破損して飛散することがあります。 ●みそ汁・スープ・昆布茶など、塩分を含んだもの ステンレスサーバー内側は18-8ステンレスを使用していますが、さびたり、保温力が低下する原因になります。 ●牛乳・乳飲料・果汁など 成分が腐敗することがあります。そのまま長く放置した場合は腐敗によりガスが発生し、ステンレスサーバー内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、サーバーふたセットが破損飛散することがあります。 ●果肉・お茶の葉 詰まる・漏れるなど故障の原因になります。
■計量スプーンのすりきり3 3/4 杯(約30g)を超えるコーヒー豆(粉)を入れない コーヒーがあふれて、やけどの恐れがあります。	
■水タンクに水を入れたまま放置しない 故障・変色・におい・腐敗の原因になります。	
■専用のステンレスサーバーや指定サイズのカップ/ステンスマグ以外は使用しない コーヒーがあふれて、やけどの恐れがあります。	
■ステンレスサーバーを水に浸さない すき間に水がたまり、さびや変形の原因になります。	
■テーブルからはみ出した状態で使用しない けが・やけどの恐れがあります。	

各部のなまえ

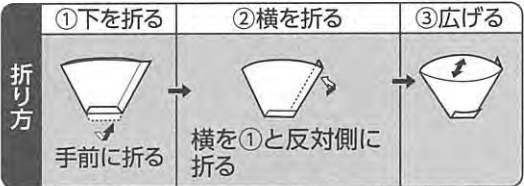
付属品

●ステンレスメッシュフィルター



●ペーパーフィルター(2枚)

ペーパーフィルターがなくなったときは、市販のサイズ(1×2)または(102)をお求めください。



●ペーパーフィルターがフィルターケースからはみ出さないように折り幅を調節してください。

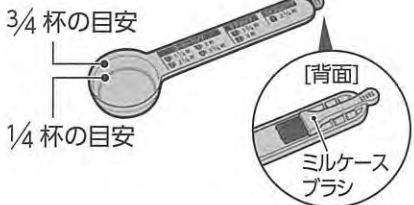
●浄水カートリッジ(消耗品)

お買い上げ時は浄水カートリッジケースセットに取りつけておりませんのでお使いになる前に取りつけてください。(→P.10)



●計量スプーン

コーヒー豆・コーヒー粉
すりきり1杯約8g



●ミルクケースブラシ

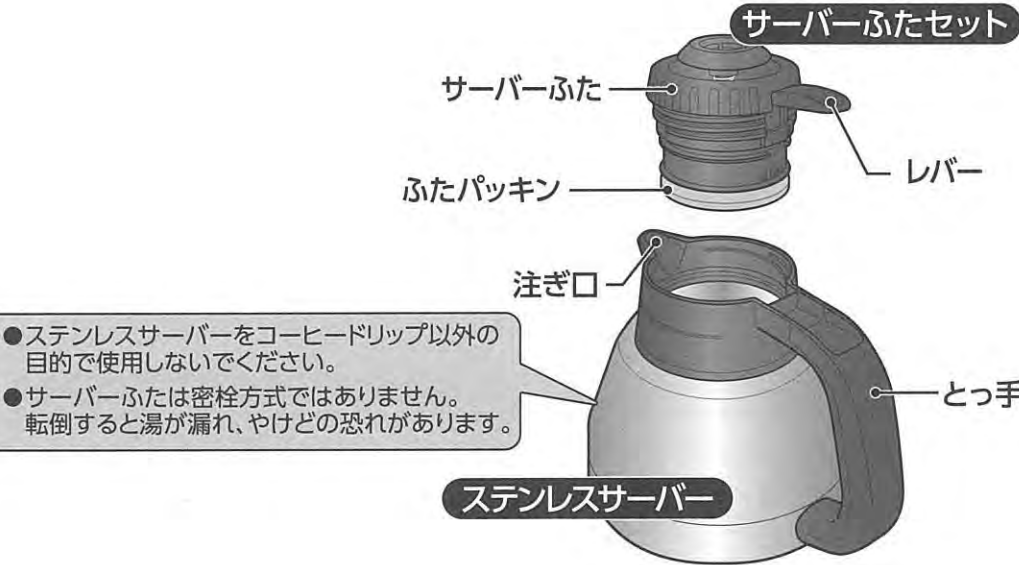
お買い上げ時は計量スプーンに取りつけられています。



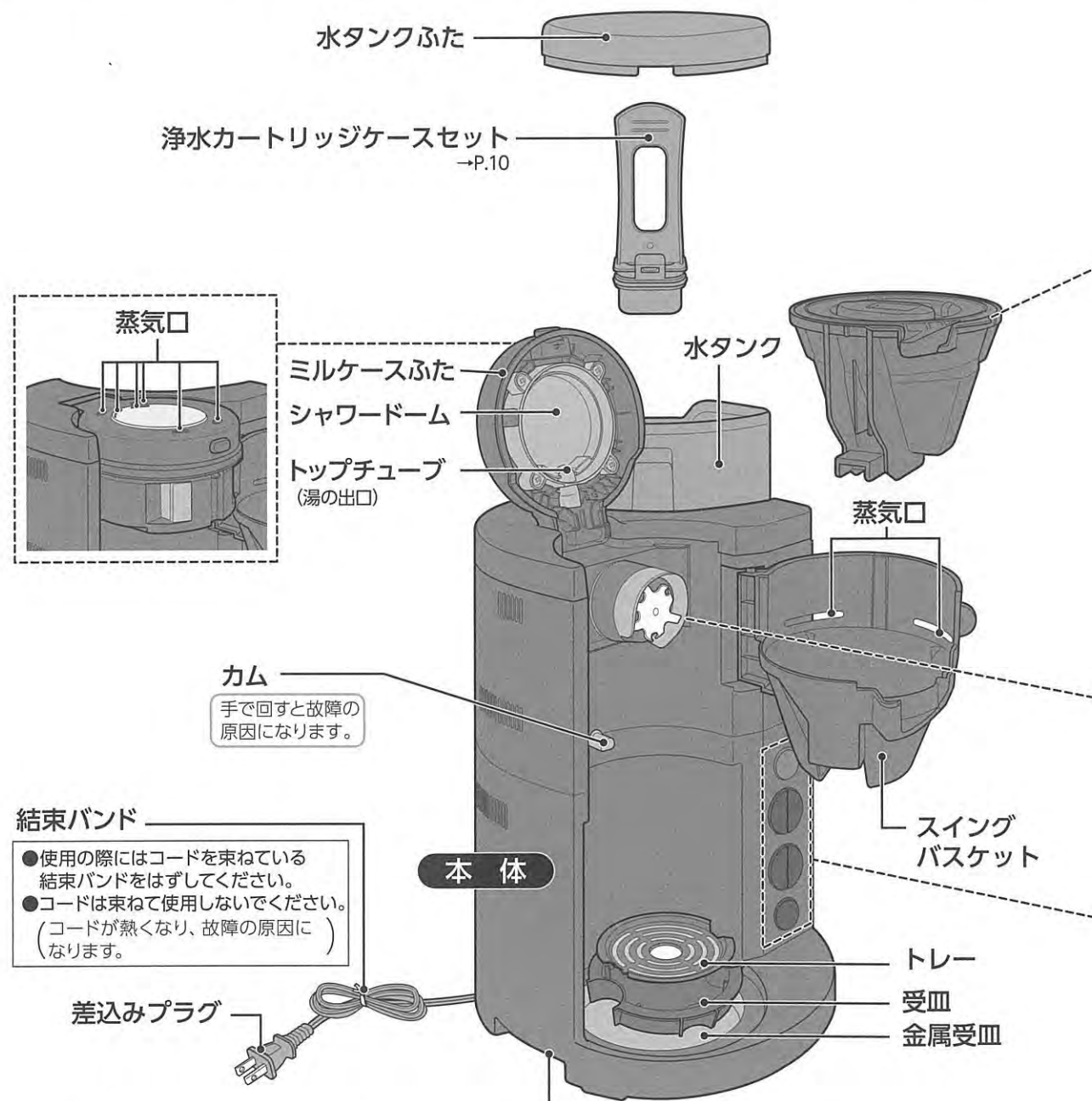
●カップ用トレイ



●カップ用受皿



各部のなまえ つづき



フィルターケースセット

フィルターケースふた



ステンレスメッシュフィルター

●ステンレスメッシュフィルターとペーパーフィルターを同時に使用しないでください。
コーヒー粉がフィルターからあふれる恐れがあります。



フィルターケース

しずくもれ防止弁

フィルターケースレバー

しずくもれ防止機構について



コーヒーのしずくがフィルターケースから漏れないようにするしくみです。

ドリップ中に自動でしずくもれ防止弁を開閉し、コーヒーの濃度調節を行うため、コーヒーが出てこない時間があります。

ミルクケースセット



ミルクケース



ミルクケースフィルター

(ミルクケースフィルターはミルクケースの裏面にセットされています。)

取りつけるときは……→P.9 参照

挽き方を選ぶときは……→P.12 参照

お手入れするときは……→P.20 参照

操作部

「入/切」キー

入/切

豆・粉選択キー

コーヒー豆ランプ

コーヒー粉ランプ

「豆」キー

コーヒー豆を入れてドリップするときを使う →P.18

「粉」キー

コーヒー粉を入れてドリップするときを使う →P.18

濃度調節キー

普通ランプ

濃いランプ

「普通」キー

普通コースを選択するときを使う →P.18

「濃い」キー

濃いコースを選択するときを使う →P.18

「スタート」キー

スタート

スタートランプ

本体の持ち運び方

- ①スイングバスケット、水タンクをはずす
- ②持ち手(左右2カ所)を持って運ぶ

- 持ち運ぶときは、本体を傾けないでください。傾けると水がこぼれる場合があります。
- ミルクケース、ミルクケースふたは持たないでください。



各部のつけ方・はずし方

フィルターケースセット

はずし方

- ①スイングバスケットを開ける
- ②フィルターケースセットの凸部を持ち、取りはずす

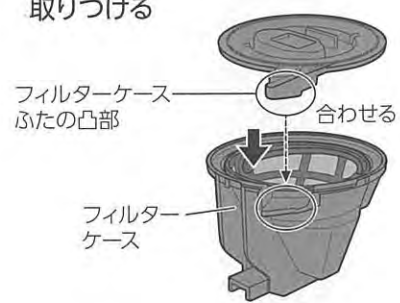


- ③フィルターケースふたをはずす



つけ方

- ①フィルターケースふたの凸部をフィルターケースに合わせて取りつける

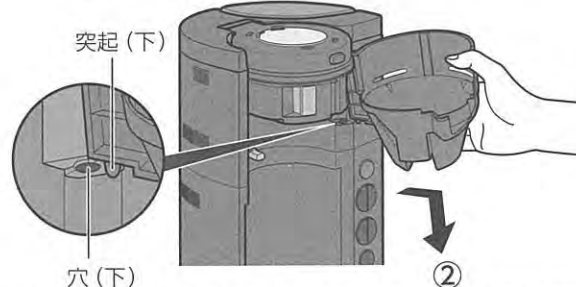
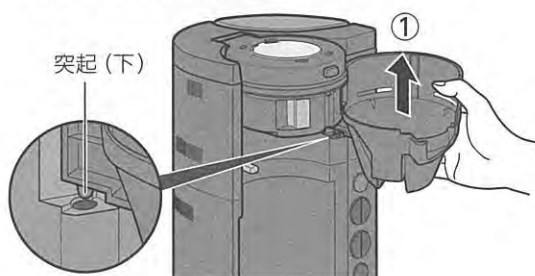


スイングバスケット

●ステンレスサーバー、フィルターケースセットを取りはずしてから行ってください。

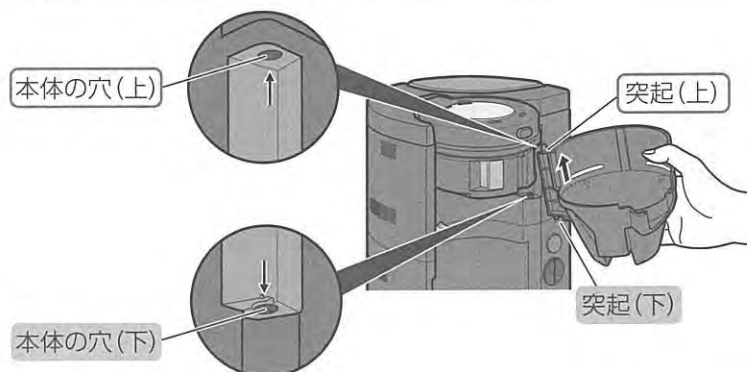
はずし方

- ①スイングバスケットを全開にし、持ち上げて突起(下)を浮かせる
- ②スイングバスケットを矢印の方向にずらして下方向にはずす



つけ方

突起(上)を本体の穴(上)に差し込んでから、突起(下)を本体の穴(下)に合わせてはめ込む

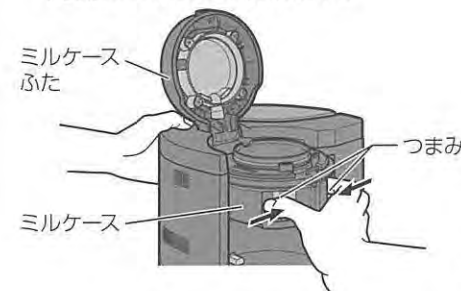


ミルクケース

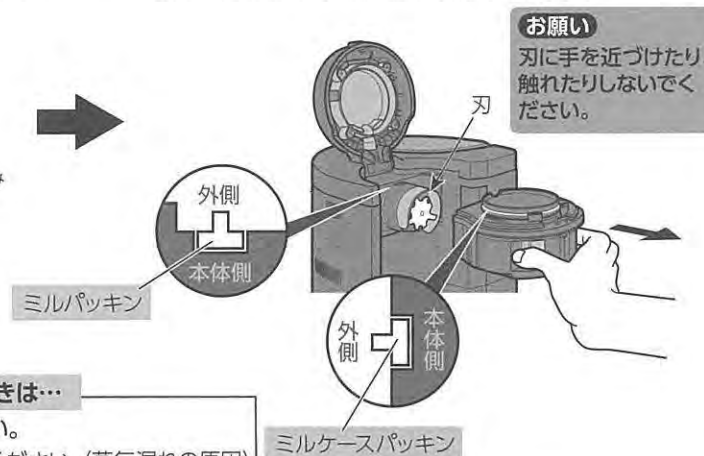
はずし方

●ミルクケースふたを開けてからミルクケースをはずしてください。
(ミルクケースふたを開けないとミルクケースがはずせません)

- ①ミルクケースふたを開けてミルクケースの両側のつまみを内側に押す



- ②つまみを押しながら手前に引き抜く



お願い
刃に手を近づけたり、触れたりしないでください。

パッキンがはずれたときは…

- 凸部が外側になるように取りつけてください。
- 確実に取り付けられていることを確認してください。(蒸気漏れの原因)
- パッキンのねじれなどに注意してください。

つけ方

ミルクケースを持って「カチッ」と音がするまで押し込む



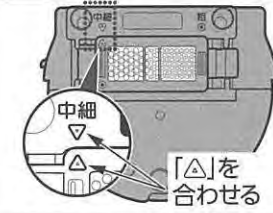
ミルクケースフィルター

●ミルクケースをはずしてからミルクケースフィルターをはずしてください。

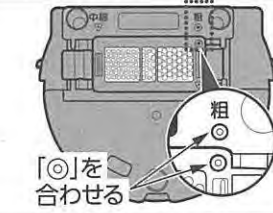
お好みの挽き方になるように、ミルクケースとミルクケースフィルターの記号を合わせて取り付けてください。

(このイラストは裏面です。)

中細挽きの場合

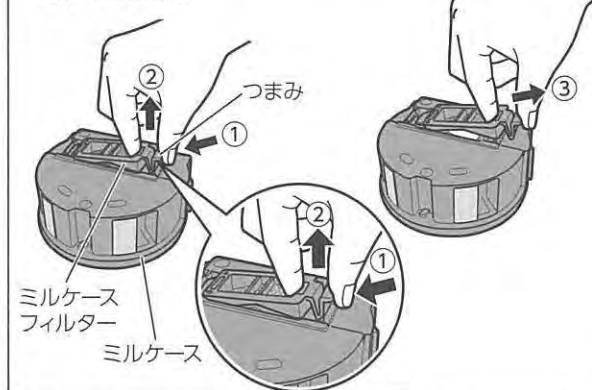


粗挽きの場合



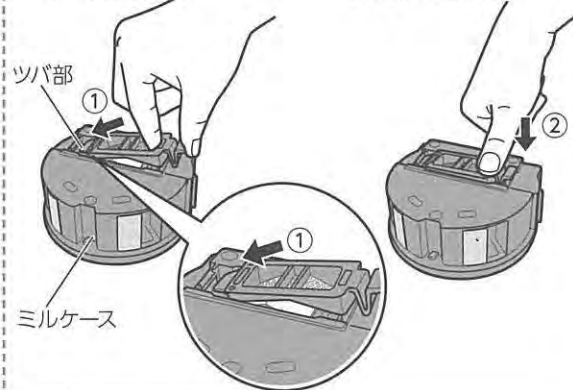
はずし方

- ①つまみを押さえながら
- ②持ち上げる
- ③はずす



つけ方

- ①ツバ部をミルクケースに差し込む
- ②「カチッ」と音がするまで押し込む



(このイラストは中細挽きの場合です。)

各部のつけ方・はずし方 つづき

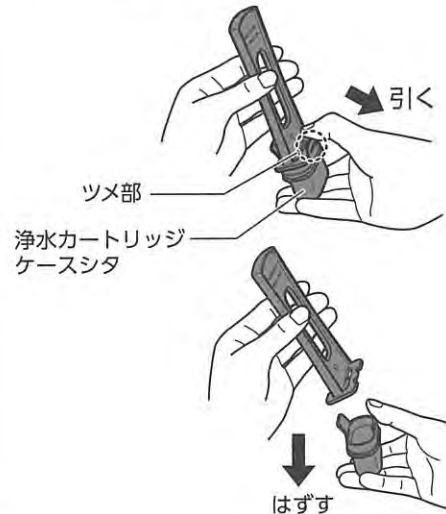
浄水カートリッジケースセット

はずし方

- ① 水タンクふたをはずす
- ② 浄水カートリッジケースセットをはずす



- ③ 浄水カートリッジケースシタのツメ部を引きながら取りはずす

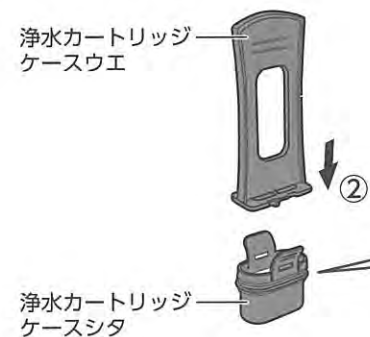


つけ方

- ① 浄水カートリッジを袋から取り出し、浄水カートリッジケースシタに入れる

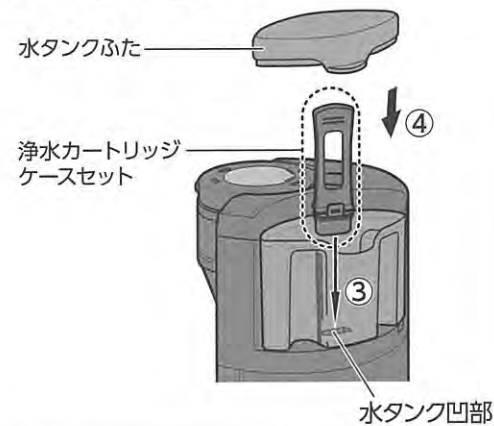


- ② 浄水カートリッジケースウエと浄水カートリッジケースシタを取りつける



- ③ 浄水カートリッジケースセットを水タンク凹部に奥までしっかり差し込む

- ④ 水タンクふたを閉める



浄水パッキンがついていることを確認してください。

パッキンは溝に合わせて取りつけてください。



●パッキンのねじれなどに注意してください。

使い方

- 初めてお使いになるとき
- 長期間お使いにならなかったとき

浄水カートリッジケースセット・ステンレスメッシュフィルター・フィルターケース・ステンレスサーバーなどを洗ったあと、「粉」キー・「普通」キーを押してコースを選び、1～2回水だけでドリッピングして本体内部を洗浄してください。

- この製品は家庭用です。業務用として使用しないでください。
- この製品はコーヒーを作るためのものです。コーヒーを作ること以外には使わないでください。水以外のもの（牛乳・酒・コーヒー・湯など）を水タンクに入れると故障の原因になります。
- 使いはじめはプラスチックのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。また、黒い粉が落ちることがありますが、これは浄水用の活性炭で無害ですので使用上差しつかえありません。

1 ミルケースフィルターを取りつける

ミルケースふたの開閉方法

■開け方

ボタンを押しながら持ち上げる

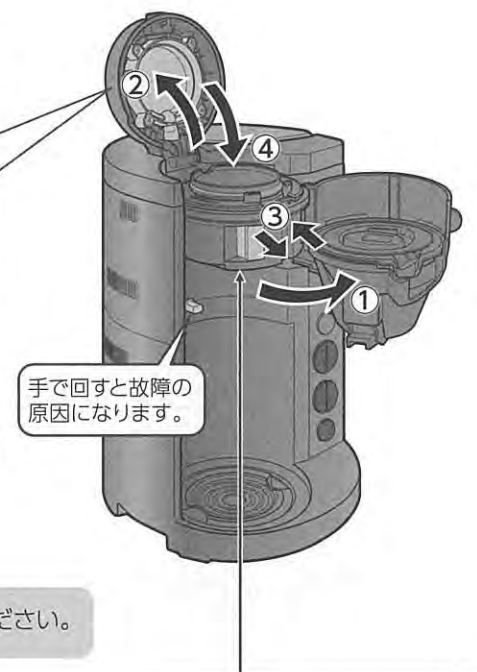
■閉め方

ミルケースふたの上部分を押さえ、「カチッ」と音がするまで閉める



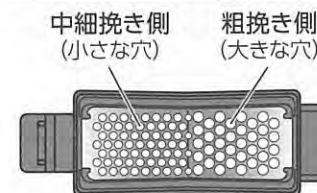
- ① スイングバスケットを開ける
- ② ミルケースふたを開ける
- ③ ミルケースをはずしてミルケースフィルターをお好みの挽き方になるよう取りつけたあと、再度ミルケースを取りつける（→P.9）
- ④ ミルケースふたを「カチッ」と音がするまで閉める

●スイングバスケット開閉時は本体が倒れないように注意してください。



手で回すと故障の原因になります。

ミルケースフィルター



刻印の記号

ミルケース	中細	粗
ミルケースフィルター	△	◎
挽き方	中細挽き	粗挽き

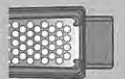
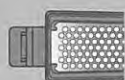
（お願い）

ミルケースフィルターは必ず取りつけてください。（コーヒー豆が挽けない原因）

- 取りつける方向により、「中細挽き」と「粗挽き」を切りかえることができます。
- 挽き方を切りかえるにはミルケースとミルケースフィルターの刻印を同じ記号に合わせて取りつけます。（つけ方・はずし方→P.9）
- お買い上げ時には「中細挽き」の方向に取りつけています。

ミルクースフィルターとコース選択の組み合わせについて

2段階の挽き分けができるミルクースフィルターと、2段階の濃度調節ができるコース選択を組み合わせることにより、4通りの味わいをお好みで楽しめます。

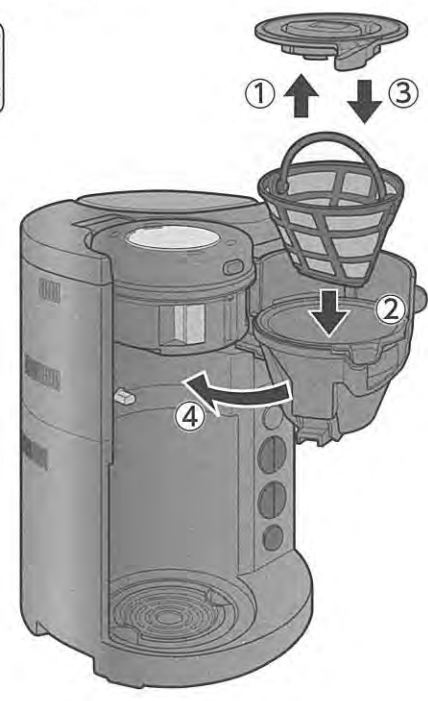
4通りの挽き分け・濃度調節組み合わせ一覧 ※1		• コーヒー名称は、組み合わせに適したコーヒーの参考例です。
コース		
ミルクース フィルター	 普通	 濃い
粗挽き 	香りがはっきりとしていて、味わい軽やか、すっきりとした後味 フルーティな香りのモカ	柑橘系の香りがあり、味わいのバランスが良く、甘みが残る クリアでバランスのとれたブルーマウンテン
中細挽き 	香り、酸味、甘み、苦味の特徴がバランスよく感じられる味わい 明るい酸味のキリマンジャロ	後味は甘みを伴う苦味があり、コクが増す、ジューシーな口あたり 爽やかな風味のグアテマラ

※1 小川珈琲株式会社所属SCAA/CQI認定Qグレーダーによる評価。
コーヒー豆の種類、挽き方、量などによって異なることがあります。

2 ステンレスメッシュフィルターを取りつける

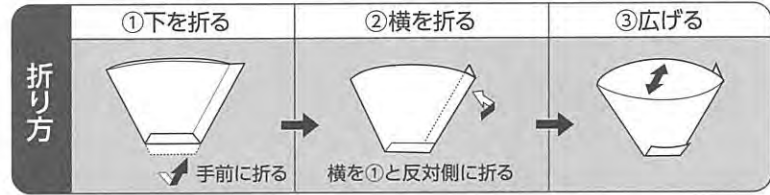
【コーヒー豆】と【コーヒー粉】、どちらをお使いの場合もステンレスメッシュフィルターを取りつけてください。

- ①フィルターケースふたを取りはずす
- ②フィルターケースにステンレスメッシュフィルターを取りつける
- ③フィルターケースふたを取りつける
- ④スイングバスケットを「カチッ」と音がするまで閉める



ステンレスメッシュフィルターの代わりに市販のペーパーフィルターも使用できます

• ペーパーフィルターを使用する場合は、ステンレスメッシュフィルターは使用しないでください。



• ペーパーフィルターは、上図のように折ってからフィルターケースに取りつけてください。

フィルターケースセット



• ペーパーフィルターがフィルターケースに沿うように取りつけてください。リップがペーパーフィルターの内側に入るように、フィルターケースふたを取りつけてください。

- 粉の種類によっては、コーヒー粉がフィルターからあふれる場合があります。(デカフェ、カフェインレス、浅煎りなどの粉はあふれやすいものがあります。)その場合は、ステンレスメッシュフィルターを使用するか、作るコーヒーの量(杯数)を減らしてください。
- コーヒー豆やコーヒー粉の種類、ペーパーフィルターの種類によっては、フィルターケースにコーヒーが多く残る場合があります。
- ペーパーフィルターを2枚以上重ねて使用しないでください。
- ペーパーフィルターを使用する場合、正しく取り付けないとコーヒー粉がフィルターからあふれる恐れがあります。
- ステンレスメッシュフィルターとペーパーフィルターでは、できあがりのコーヒーの味がかわることがあります。

● フィルター(ステンレスメッシュフィルターまたはペーパーフィルター)無しで使用しないでください。(コーヒーがあふれる原因)

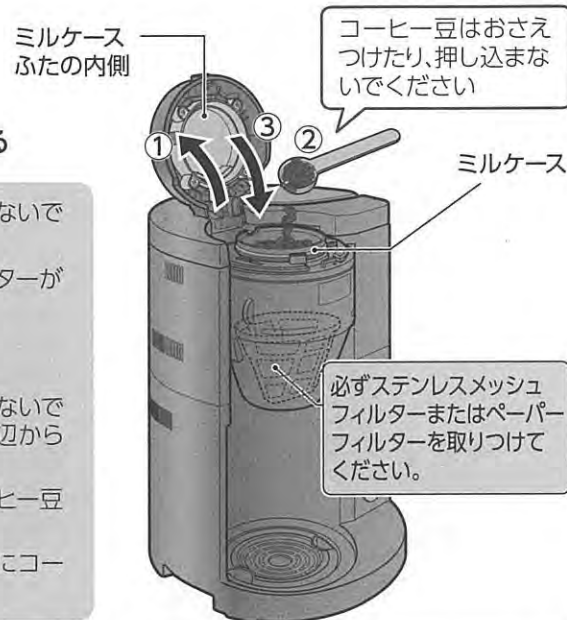
3 コーヒー豆またはコーヒー粉を入れる

- 計量スプーンのすりきり3 $\frac{3}{4}$ 杯(約30g)を超える量を入れないでください。
(ミルケースふた周辺から湯が飛び散ったり、スイングバスケットからコーヒーがあふれたり、モーターが故障する原因になります。)
- 1杯未満のコーヒーを作ることはできません。
- スイングバスケットを開閉するときは本体が倒れないように注意してください。
- スイングバスケットを正しく閉めないとおふれる原因になります。

コーヒー豆を入れる場合

- ①ミルケースふたを開ける
- ②ミルケースにコーヒー豆を入れる
- ③ミルケースふたを「カチッ」と音がするまで閉める

- コーヒー豆を入れた後は、ミルケースフィルターをはずさないでください。(ミルケースからコーヒー豆が落ちる原因)
- ミルケースふたの内側やミルケース・ミルケースフィルターがぬれている場合は、乾いた布でふき取ってください。
(コーヒー豆が付着してミルケース内に残る原因)
- 生豆や湿ったコーヒー豆を入れないでください。
- ミルケースにはコーヒー豆以外(コーヒー粉など)を入れないでください。(ドリップ時にミルケース・ミルケースふた周辺から湯などがあふれたり、内部モーターの故障の原因)
- コーヒー豆の焙煎度合いによっては、ミルケースにコーヒー豆が残る場合や運転を停止することがあります。
- ミルケースは毎回お手入れをしてください。ミルケースにコーヒー豆が残る場合があります。



コーヒー粉を入れる場合

- ①ミルケースふたがしっかり閉まっていることを確認する
- ②スイングバスケットを開ける
- ③フィルターケースふたを取りはずす
- ④ステンレスメッシュフィルターまたはペーパーフィルターにコーヒー粉を入れる
- ⑤フィルターケースふたを取りつけ、スイングバスケットを「カチッ」と音がするまで閉める

- ステンレスメッシュフィルターまたはペーパーフィルターにはコーヒー粉以外を入れないでください。
(ドリップ時にスイングバスケットからコーヒーがあふれたり、故障の原因)
- 細挽き粉は使わないでください。
(フィルターが目詰まりし、コーヒーがあふれる恐れがあります。)
- フィルターケースふたは確実に取りつけてください。
- ミルケースにコーヒー粉を入れないでください。
(ドリップ時にミルケース・ミルケースふた周辺から湯などがあふれたり、内部モーターの故障の原因)



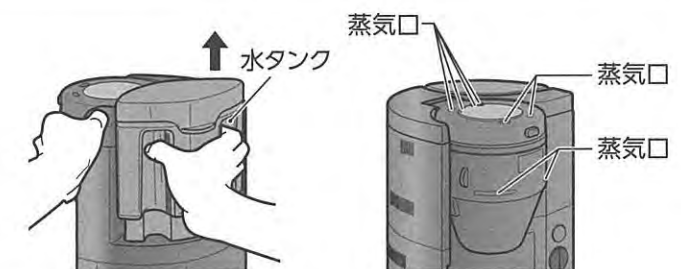
■コーヒー豆(粉)標準使用量 ●2カップ以上のコーヒーを作るときはステンレスサーバーを使用してください。

容器	できあがり数		コーヒー豆(粉)量	
			ホットコーヒー	アイスコーヒー
ステンレスサーバー	コーヒーカップ	4カップ	3 ¾ 杯 (約30g)	3 ¾ 杯 (約30g)
		3カップ	3 杯 (約24g)	3 杯 (約24g)
		2カップ	2 ¼ 杯 (約18g)	2 ¼ 杯 (約18g)
		1カップ	1 ¼ 杯 (約10g)	
	マグカップ	2カップ	3 杯 (約24g)	
		1カップ	1 ¾ 杯 (約14g)	
コーヒーカップ	1カップ		1 ¼ 杯 (約10g)	
マグカップ	1カップ		1 ¾ 杯 (約14g)	
ステンレスマグ (360mL用)	1本		2 ¾ 杯 (約22g)	

4 水タンクに水を入れる

①水タンクを本体からはずす

- 本体を押さえずにはずしてください。
本体が持ち上がり、落下することがあります。
(蒸気口には手を触れないでください。)



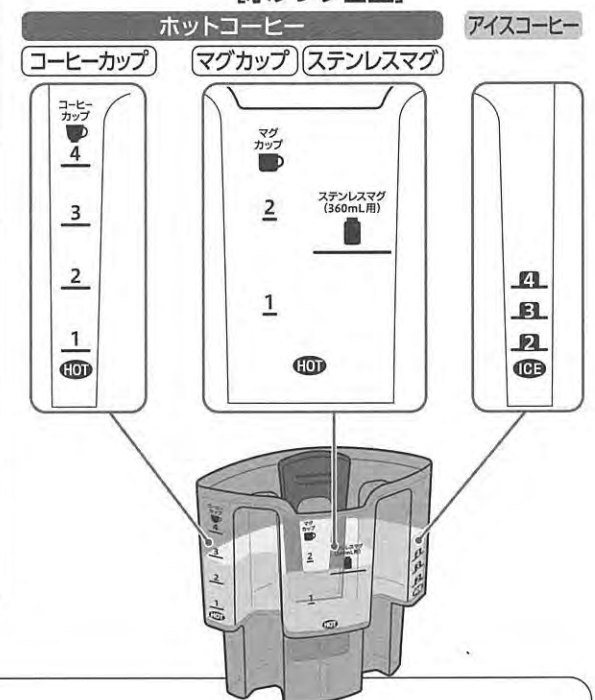
②浄水カートリッジケースセットを正しく取りつけていることを確認する(→P.10)

③作るコーヒーの量の水タンク目盛まで水を入れ、水タンクふたを取りつける

故障や水漏れ、コーヒーがあふれる原因になるため、以下のことをお守りください。

- 水タンク目盛の「HOT」コーヒークップ4)を超える水を入れないでください。
- ドリップ中は水をつぎ足さないでください。
- 水タンクに湯を入れないでください。
- 水タンクを本体に取りつけた状態で水を入れないでください。水が製品内部に流れ込むため水量が多くなります。
- 使用する容器(ステンレスサーバー・カップ・ステンレスマグ)の容量を超える水を水タンクに入れないでください。
- 浄水カートリッジケースセットは水タンクに水を入れる前に取りつけてください。
- 2カップ以上のコーヒーを作るときはステンレスサーバーを使用してください。
- ステンレスマグの目盛を使用するときは360mL用のステンレスマグを使用してください。

【水タンク目盛】



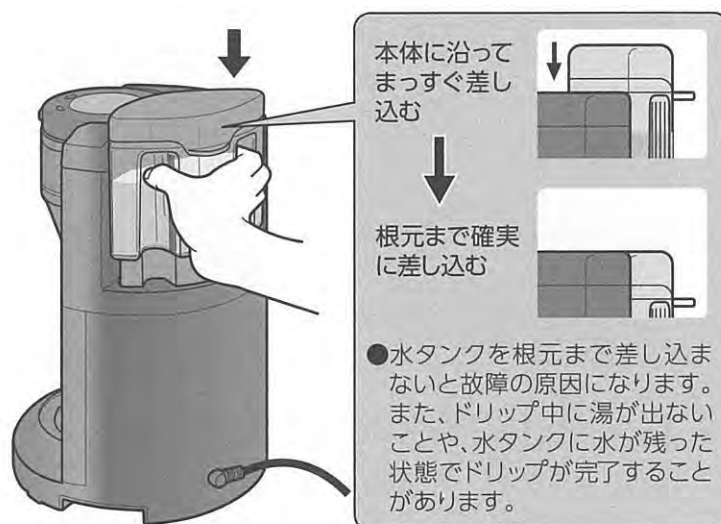
ミネラルウォーターを使用時のお願い

- 硬度200以上のものは使用しないでください。
製品内部の水管に湯アカ(ミネラル分)が付着して、ドリップ時間が長くなったり、最後までドリップできなくなることがあります。
- できるだけ硬度100以下のものを使用してください。
- 使用中にドリップ時間が長くなったときは、クエン酸洗浄を行ってください。(→P.23)

使い方 つづき

5 水タンクを取りつける

水タンクを本体に沿って根元までしっかりと差し込む



6 ステンレスサーバーまたはカップ・ステンレスマグを載せる

載せる前に受皿と金属受皿に水分がないことを確認してください。

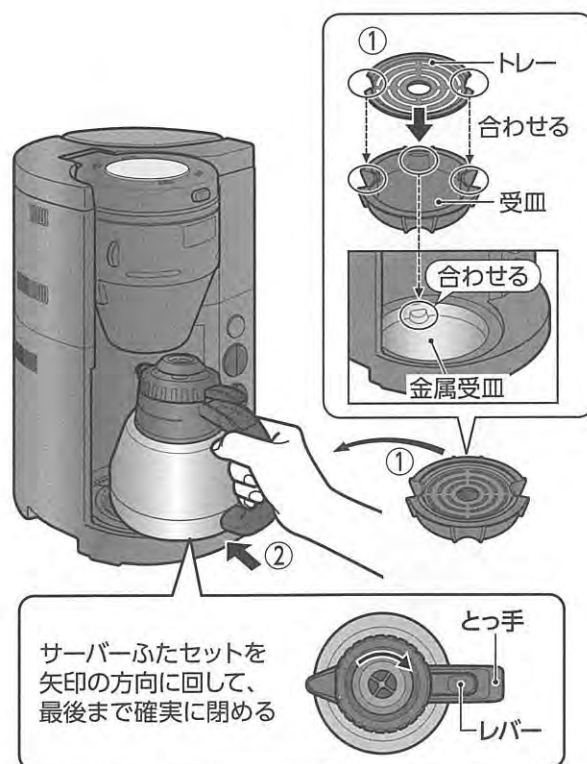
熱いコーヒーがお好みの方は…

あらかじめステンレスサーバーまたはカップ・ステンレスマグを熱湯で温めてからご使用ください。

ステンレスサーバー使用時

- ①受皿にトレイを載せ、本体に取りつける
- ②ステンレスサーバーの中が空であることを確認してからサーバーふたセットを閉め、トレイに載せる

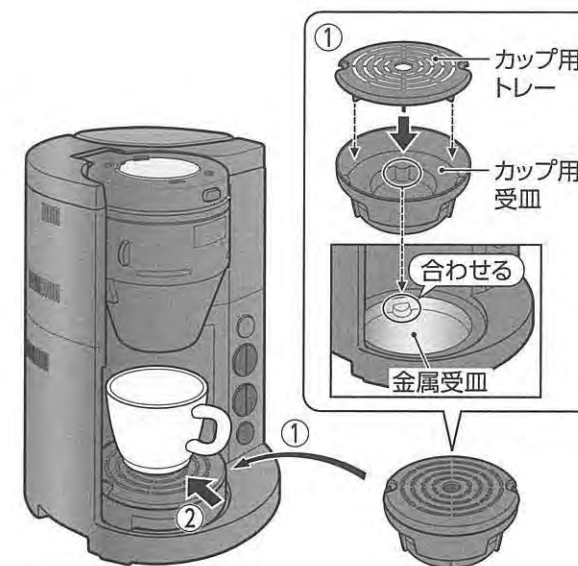
- トレイの表裏を逆にして取り付けないでください。
- ステンレスサーバーの中に湯やコーヒーが入っている状態でドリップを開始すると、ステンレスサーバーからコーヒーがあふれることがあります。



カップ（コーヒーカップまたはマグカップ）使用時

- ①カップ用受皿にカップ用トレイを載せ、本体に取りつける
- ②カップ（コーヒーカップまたはマグカップ）をカップ用トレイの中央に載せる

- 受皿・トレイの上にカップ用受皿・カップ用トレイを載せないでください。
- カップ用トレイの表裏を逆にして取り付けないでください。
- コーヒーカップまたはマグカップはカップ用トレイの中央に載せてください。
- カップの容量を超える水を水タンクに入れるとコーヒーがあふれる恐れがあります。
- 高さ12cm以下のカップが使用できます。

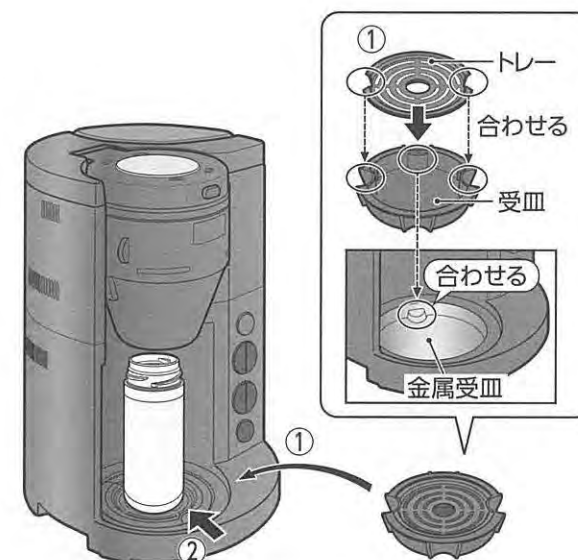
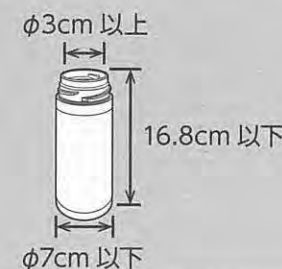


お願い
2カップ以上のコーヒーを作るときは
ステンレスサーバーを使用してください。

ステンレスマグ使用時

- ①受皿にトレイを載せ、本体に取りつける
- ②ステンレスマグをトレイの中央に載せる

- トレイのみを本体に取り付けないでください。(必ず受皿にトレイを載せてください。)
- トレイの表裏を逆にして取り付けないでください。
- ステンレスマグはトレイの中央に載せてください。
- ステンレスマグの容量を超える水を水タンクに入れるとコーヒーがあふれる恐れがあります。(360mL未満のステンレスマグ使用時は特に注意してください。)
- 以下のサイズのステンレスマグが使用できます。
 - ボトル底部の外径がφ7cm以下
 - ふたをはずしたときの高さが16.8cm以下
 - 口径φ3cm以上

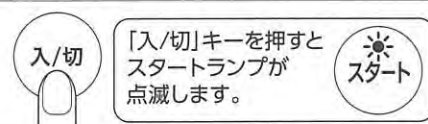


使い方 っづき

7 差込みプラグをコンセントに差し込み、コースを選んでスタートする

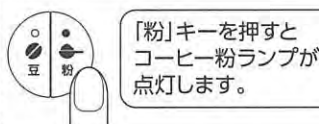
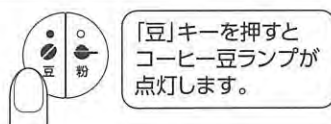
① 差込みプラグを差し込む

② 「入/切」キーを押す



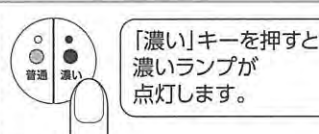
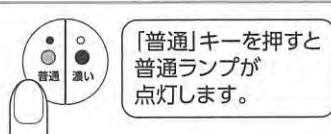
③ 「豆」または「粉」キーを押す

- 「豆」キーと「粉」キーを間違えないように注意してください。

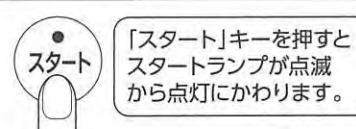


④ 「普通」または「濃い」キーを押す

- ドリッピング中に自動でコーヒーの濃度調整を行っています。



⑤ 「スタート」キーを押す



- 「スタート」キーを押さずに約10分経過すると自動的に電源が切れます。
- コーヒー豆の挽き始めは大きな音がします。
- コーヒー豆を挽き終えたあと、しばらくすると再度ミルが回転します。(洗浄のためで、異常ではありません。)

できあがり時間の目安

(水温20℃、室温20℃、コーヒー豆を使用した場合)

カップ数	1	2	3	4
コーヒーカップ	4分	5.5分	6.5分	8分
マグカップ	4.5分	6.5分	—	—
ステンレスマグ(360mL用)	6分	—	—	—

- できあがり時間は、水量・室温・コーヒー豆の量などで変わります。
- コーヒー粉の時は約1分短くなります。

「豆」キーと「粉」キーを間違えて押したときは…

コーヒー豆を使用するときに「粉」キーを押した場合

「入/切」キーを押したあと、「使い方7-②」からやり直してください。
(ドリッピングによりコーヒー豆がぬれているときは、新しいコーヒー豆で「使い方1」からやり直してください。(→P.11))

コーヒー粉を使用するときに「豆」キーを押した場合

運転が停止することがあります。
(ブザーが鳴り、コーヒー豆ランプが点滅します。)
→「入/切」キーを押したあと、「使い方7-②」からやり直してください。

途中で止めるときは…

① 「入/切」キーを押す

② 本体が冷めてフィルターケースからコーヒーが落ちてこなくなったことを確認したあと、ステンレスサーバー(またはカップ・ステンレスマグ)とフィルターケースセットを取り出す

③ フィルターケースの下に容器を置き、フィルターケースレバーを押してフィルターケースにたまったコーヒーを捨てる



④ 水タンクをはずし、残っている水を捨てる

- フィルターケース内にコーヒーがたまっている状態でバスケットを開くとこぼれる恐れがあります。
- コーヒーを捨てるときはやけどに注意してください。
- 水タンクをはずしたときに水タンクから水が垂れることがあります。
- 止めた時点からの再開はできません。もう一度ご使用のときは「使い方1」からやり直してください。(→P.11)

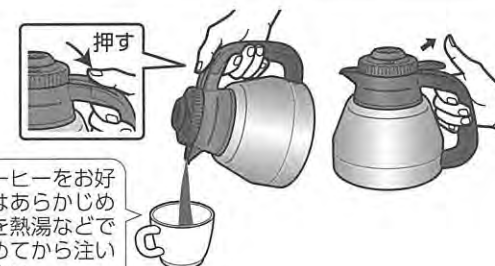
8 ブザーが鳴ればドリップが完了

ステンレスサーバー使用時

ステンレスサーバーを取り出し、サーバーふたのレバーを押しながらカップに注ぐ

- ステンレスサーバーを傾けたときに、注ぎ口やサーバーふたの穴から少量のコーヒーが漏れることがあります。
- 次の場合はコーヒーが漏れることがありますのでご注意ください。
 - 注ぐときに必要以上に傾ける
 - 持ち運ぶときに傾けたり、横抱きする
 - 転倒させる

ドリップが完了すると自動的に電源が切れます。
(すべてのランプが消灯し、ブザーでお知らせします。)



熱いコーヒーをお好みの方はあらかじめカップを熱湯などであたためてから注いでください。

お願い

- コーヒーを注いだあとは、レバーを押したままステンレスサーバーを水平に戻し、レバーから指を離してください。
- 使用後は差込みプラグを抜いてください。

アイスコーヒーの作り方

アイスコーヒーを作るときは、ステンレスサーバーを使用してください。

準備するもの

- アイスコーヒー用コーヒー豆またはコーヒー粉
- 氷



作り方

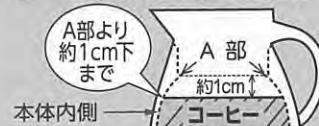
- ① 「使い方1〜7」と同じ手順でコーヒーを作ります。
 - ステンレスサーバーは予熱しないでください。
 - 水量は水タンクの「ICE」の目盛に合わせてください。
- ② サーバーふたセットをはずし、ステンレスサーバーに氷を入れてかき混ぜながら冷やします。
- ③ サーバーふたセットを閉めて、レバーを押しながらコーヒーを注ぎます。

■氷の量の目安

できあがり量(杯)	2	3	4
個数の目安※(個)	8	12	16
重さ(約g)	120	180	240

※角氷(2.5cm角)の場合。入れる氷の個数は氷の大きさにより変わります。お好みにより調整してください。

- ステンレスサーバーにあらかじめ氷を入れてコーヒーを作らないでください。(コーヒーがあふれ、やけどの恐れがあります。)
- アイスコーヒーを1カップ分だけ作ることはできません。2カップ以上で作ってください。
- 氷を入れたあとのコーヒーの液面は、下図の位置までにしてください。氷を入れすぎるとコーヒーがあふれることがあります。



ドリップ後は…

スイングバスケットを開けて本体からフィルターケースセットをはずし、ドリップ済みのステンレスメッシュフィルターまたはペーパーフィルターを取り出してください。

- 金属部分や、湯を含んだペーパーフィルターは熱くなっていますのでやけどに注意してください。
- フィルターケース内にコーヒーがたまっている場合はフィルターケースレバーを押してコーヒーを捨ててください。

連続してコーヒーを作るときは…

- 本体を5分以上冷ましてから「使い方1」より行ってください。(→P.11)
- 運転完了または停止後、約5分間は連続運転できないようになっています。
- 本体が熱いうちに給水したり、動かしたりしないでください。
- ミルケースフィルターにコーヒー豆やコーヒー粉が付着している場合は取り除いてください。ミルケース・ミルケースふた周辺からコーヒーがあふれる恐れがあります。(コーヒー豆を使ったあとのみ)

お手入れ

差込みプラグをコンセントから抜き、
本体が冷めてからお手入れしてください。

- ご使用ごとに必ずお手入れしてください。
- 本体・コード・差込みプラグに直接水をかけたり、丸洗いはしないでください。(感電・故障の原因)
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使用しないでください。(部品変形の原因)
- 熱湯は使用しないでください。(変形や割れの原因)
- 次のものは使用しないでください。
 - ・台所用中性洗剤以外の洗剤、シンナー、ベンジン、漂白剤など(変色・割れ・劣化・腐食の原因)
 - ・みがき粉、ナイロンたわし、ブラシ、金属製のもの、メラミンスポンジ、スポンジのナイロン面、研磨剤入り洗剤など(表面が傷つく原因)
- 化学ぞうきんを使用する場合は、強くふいたり長時間触れさせたりしないでください。(表面が傷ついたり、化学変化を起こす原因)

本体

- ①薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞り、汚れをふき取る
 - ②水を絞った柔らかい布でよくふく
 - ③乾いた柔らかい布で水分をふき取る
- 金属受皿にコーヒーがたまっているときは、持ち手を持ち、本体を傾けて捨ててください。(スイングバスケット・水タンク・ステンレスサーバー・受皿/トレイ・カップ用受皿/カップ用トレイなどは取りはずしてください。)
 - コーヒーを捨てるときはやけどに注意してください。
 - 金属受皿や本体(金属受皿の周り)にコーヒーの滴やコーヒー粉が残っているときは、よくふき取ってください。

持ち方

捨て方



ミルクケース・ミルクケースフィルター

- ①ミルクケース・ミルクケースフィルターを取りはずす
(はずし方→P.9)
 - ②薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどの柔らかいもので洗う
 - ③水洗いする
 - ④乾いた柔らかい布で水分をよくふき取る
- 十分に水切りをしてください。内部に水がたまる場合があります。
 - ミルクケースを水に浸さないでください。すき間に水がたまり、さびや変形の原因になります。
 - コーヒー豆やコーヒー粉が付着している場合は取り除いてください。
ミルクケース・ミルクケースふた周辺からコーヒーがあふれる恐れがあります。

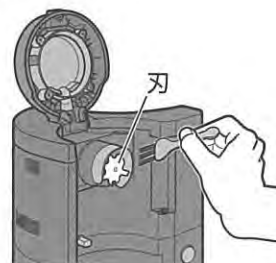
コード・差込みプラグ

乾いた柔らかい布でふく

本体(刃部)

刃の部分は棒などで回しながら付属のブラシで
コーヒー豆やコーヒー粉を取り除いてください。
(刃は鋭利なため、手を入れたり
触れたりしないでください。)

- 付属のブラシで刃を回さないでください。



浄水カートリッジ

水で洗い流したあと、よく乾燥させる

- 浄水カートリッジは消耗品です。交換時期の目安は、水質や使い方により異なりますが約2年です。(1日1回使用した場合)
- 洗剤は使わないでください。

フィルターケース

- ①薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどの柔らかいもので洗う
- ②水洗いする
- ③フィルターケースの中に水を入れ、しずくもれ防止弁を2~3回動かし、汚れを洗い流す
- ④乾いた柔らかい布で水分をよくふき取る



- しずくもれ防止弁にコーヒー粉が詰まると弁が閉まらずにコーヒーが漏れることがありますので、毎回洗ってください。
- 十分に水切りをしてください。ドリップ中に水滴が垂れることがあります。
- しずくもれ防止弁は引っ張ったり、無理に回すとはずれることがありますので注意してください。
- フィルターケースを水に浸さないでください。すき間に水がたまり、さびや変形の原因になります。

- しずくもれ防止弁は分解しないでください。
防止弁パッキンがはずれたときは、しずくもれ防止弁を押さえた状態で溝部に取りつける



防止弁パッキンが確実に取り付けられていることを確認してください。
歪んだり、はまっていないと水漏れの原因になります。

○	正しく取り付けた状態	
×	すきまなどから水漏れします。	

ステンレスサーバー

ステンレスサーバー(外側)

- ①薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどの柔らかいもので洗う
- ②水洗い後、数回振る
- ③乾いた柔らかい布で水分をよくふき取る

- ステンレスサーバーを水に浸さないでください。
すき間に水がたまり、さびや変形の原因になります。

ステンレスサーバー(内側)

- ①薄めた台所用中性洗剤を含ませた柄のついたスポンジブラシなどで、きれいに内面を洗う
- ②水洗いし、乾燥させる

- 常にお手入れをしていただきますと、においを防ぎ清潔に使用していただけます。

汚れのこびりつきがひどいとき

ステンレスサーバー内側にこびりついたコーヒーの汚れには、「象印ステンレスボトル用洗剤ピカボトル」をご使用ください。(別売品→P.26)

- ピカボトルはステンレスサーバー以外には使用しないでください。
- お手入れのときは、サーバーふたセットをステンレスサーバーからはずしてください。

お手入れ っづき

サーバーふたセット

- ①ふたパッキンを取りはずす
- ②薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどの柔らかいもので、サーバーふた・ふたパッキンを洗う
- ③水洗いする
 - サーバーふたのコーヒー液通路部は、つまり防止のため毎回水で流し洗いしてください。



サーバーふたのコーヒー液通路部は、サーバーふた弁・レバーを押しながら、図のように流し洗いする

サーバーふた弁を押しながら



レバーを押しながら



- ④サーバーふた弁・レバーを押しながらサーバーふたを数回振る
 - 押しながら振らないと内部に残った水滴が垂れることがあります。
- ⑤水分をよくふき乾燥させる
- ⑥ふたパッキンを元通り取りつける
 - 右図のように取りつけてください。



●パッキンのねじれなどに注意してください。

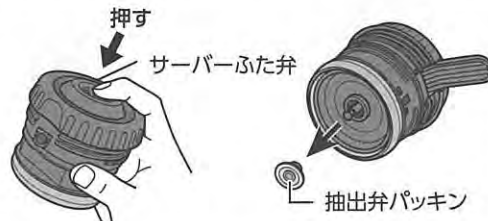
- 損傷していたり、パッキンが白く変色してきた場合は、交換 (有料) してください。(→P.26)

サーバーふた弁がスムーズに動かないときや、コーヒー通路部にコーヒー粉がたまっているとき、または約1ヶ月ご使用ごとに、サーバーふた弁をはずして洗ってください。

- 洗にくい部分は、市販の小型ブラシなどで洗ってください。
- はずした部品は、下記の通り正しく取りつけてください。

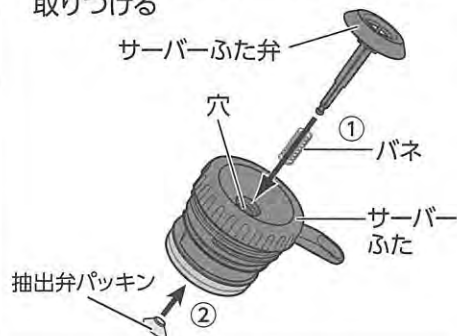
サーバーふた弁のはずし方

サーバーふた弁を押しながら抽出弁パッキンをははずす (抽出弁パッキン・サーバーふた弁・バネがはずれます。)



サーバーふた弁のつけ方

- ①サーバーふた弁にバネを通したあと、サーバーふたの穴に入れる
- ②サーバーふた弁に抽出弁パッキンを取りつける



●抽出弁パッキンは、図の向きに正しく取りつけてください。



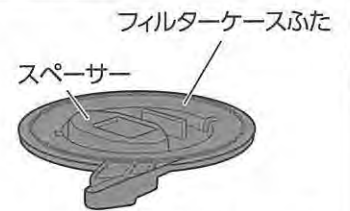
●抽出弁パッキンは、サーバーふた弁の先端がきっちりと出るように取りつけてください。



水タンク・水タンクふた・浄水カートリッジケースウエ・浄水カートリッジケースシタ・スイングバスケット・フィルターケースふた・ステンレスメッシュフィルター・受皿/トレイ・カップ用受皿/カップ用トレイ

- ①薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどの柔らかいもので洗う
- ②水洗いする
- ③乾いた柔らかい布で水分をよくふき取る

- スイングバスケットは、十分に水切りをしてください。ドリップ中に水滴が垂れることがあります。
- フィルターケースふたのスペーサーは取りはずさないでください。
- ステンレスメッシュフィルターなどの樹脂は、食品衛生上安全な材料を使用していますが、樹脂がザラザラしてきたり、損傷してきた場合は新しい部品に交換 (有料) してください。1年を目安にご確認ください。



湯の出が悪くなったら、クエン酸洗浄を行ってください。

コーヒーメーカーをお使いいただいているうちに水の中に含まれているミネラル分が製品内部の水管などに付着します。これは「湯アカ」といわれているものです。

湯アカが付着すると湯の出具合が悪くなり、コーヒーのドリップ量が少なくなったり、本体のすき間から湯が漏れることがあります。

- 水質により、湯アカのつき具合はかわります。ミネラル分の多い水質の地域やミネラルウォーターなどをご使用の場合は、湯アカが付きやすくなります。
 - クエン酸洗浄は約3か月に1回が目安です。
- 湯アカは次の方法で取り除いてください。

クエン酸洗浄のしかた

- 洗浄の前に必ず浄水カートリッジケースセットをはずしてください。
浄水カートリッジをつけたままクエン酸洗浄を行うとクエン酸のにおいがついたり、コーヒーの味がかわる原因になります。
- 浄水カートリッジケースセットを取りつけたままクエン酸洗浄をしたときは、水で洗い流してください。(クエン酸のにおいを取るため)

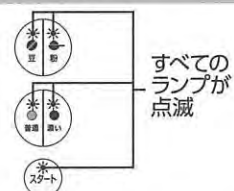
- ①コップに小さじ1.5杯(約6g)のクエン酸を入れて、ぬるま湯で溶かし、水といっしょに水タンク目盛の「コーヒーカップ 4」まで入れる
 - ②水タンク内の溶液をよくかき混ぜる
 - ③ステンレスサーバー (サーバーふたセットが取り付けられた状態)・フィルターケースセット・ミルクケース・スイングバスケットを本体に取りつける (ステンレスメッシュフィルターは取り付けしないでください。)
 - ④「入/切」キーを押して「粉」キーを選択し、「スタート」キーを押す
 - ⑤クエン酸溶液が水タンク目盛の「コーヒーカップ 1」まで減ったときに「入/切」キーを押す
 - ⑥ドリップされたクエン酸溶液を別の容器に移して冷まし、中に混ざっている湯アカ (白い結晶など) を除く
 - ⑦本体を5分以上冷ます
 - ⑧⑥のクエン酸溶液を再度水タンクに入れ、③～⑦を湯アカが出なくなるまで繰り返す
 - ⑨本体が十分冷めてから、ステンレスサーバー・フィルターケース・水タンク内のクエン酸溶液を捨て、すすいだあと、クエン酸のにおいを取るために水だけで数回ドリップする
(連続してドリップするときは、スタートランプが消灯した状態で5分以上待つ)
 - ⑩差込みプラグをコンセントから抜く
- 湯の出が悪い場合は再度クエン酸洗浄をしてください。

●泡立ち、ふきこぼれ防止のため弊社のピカポット (ポット内容器洗浄用クエン酸) をお使いください。(別売品) → P.26
クエン酸は食品添加物として使用されており、食品衛生上無害ですが食べないでください。

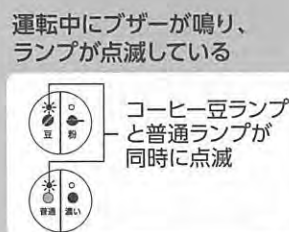
故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、
次の点をお調べください。

こんなときは	お調べいただくこと	直しかた
「入/切」キーを押しても通電しない	差込みプラグがはずれていませんか？	差込みプラグを差し込んでください。
湯が出ない 湯の出が悪く、ドリップの スピードが遅い	水タンクに水が入っていますか？ 水タンクは正しく取り付けられてい ますか？ 製品内部の水管などに湯アカが付着すると湯の出具合が悪くなります。 クエン酸洗浄を行ってください。(→P.23)	水タンクに水を入れてください。(→P.15) 水タンクを正しく取り付けてください。 (→P.16)
コーヒーがぬるい (保温が効いていない)	長時間保温していませんか？ コーヒーの量が少ないときや室温が低いときは、コーヒーの温度が低くなります。 あらかじめステンレスサーバーまたはカップ・ステンレスマグを熱湯で温めておく とコーヒーのできあがり温度が高くなり、保温に効果的です。	コーヒーの温度は時間の経過とともに 徐々に低下します。
「スタート」キーを押してもブ ザーが鳴りスタートできない	スイングバスケットまたはミルクケース ふたが確実に閉まっていますか？ フィルターケースは正しく取りつけ られていますか？ フィルターケースふたは取り付けら れていますか？ ドリップ完了後、すぐに連続して コーヒーを作っていますか？	スイングバスケットまたはミルクケースふたを 確実に閉めてください。(→P.11~14) フィルターケースを正しく取りつけてくだ さい。(→P.8) フィルターケースふたを取りつけてください。 (→P.8) 本体が熱いので、5分以上冷ましてから コーヒーを作ってください。 ドリップ完了後、約5分間は連続運転できない ようになっています。
ブザーが鳴り、ランプが 点滅している	水タンクに水を入れていますか？ 水タンクを確実に取り付けられていますか？	①「入/切」キーを押す ②本体を冷ますため、5分以上待つ ③水タンクに水を入れ、確実に取りつける (→P.15~16) ④「使い方7」からやり直す(→P.18) 上記の処置で直らないときは、差込みプラグ を抜き、10秒以上たってから再度操作してく ださい。 (それでも直らないときは、お買い上げの販 売店にご連絡ください。)
コーヒー豆がミルクケースに 残る	ミルクケースふたの内側・ミルクケース・ ミルクケースフィルターがぬれたままで コーヒー豆を入れていますか？ 計量スプーン3 3/4 杯(約30g)を超 える量のコーヒー豆を入れていますか？ コーヒー豆の焙煎度合いによってはミルクケースにコーヒー豆が残る場合があります。	①ミルクケースを取りはずし、コーヒー豆を 取り出す ②ミルクケースふたの内側やミルクケース・ミ ルクケースフィルターの水分をふき取る ③新しいコーヒー豆でやり直す 計量スプーン3 3/4 杯以下で入れてください。 (→P.15)
コーヒーがフィルターケース 内に残る	ドリップ完了後も、フィルターケース内に少量のコーヒーが残ります。また、コーヒー豆や コーヒー粉の種類、ペーパーフィルターの種類によっては、フィルターケース内にコーヒ ーが多く残る場合があります。	
水タンクの中に水が残る	水タンクは正しく取り付けられて いますか？ 製品内部の水管などに湯アカが付着すると湯の出具合が悪くなり、水タンクの中 に水が残ることがあります。クエン酸洗浄を行ってください。(→P.23)	水タンクを正しく取り付けてください。 (→P.16)



こんなときは	お調べいただくこと	直しかた
ドリップ時にサーバーふた セットからあふれる	サーバーふたセットにコーヒー粉が つまっていますか？	サーバーふたセットをお手入れしてください。 (→P.22)
カップ・ステンレスマグ からあふれる	カップ・ステンレスマグの容量以上の 水を水タンクに入れていませんか？	水タンクにはカップ・ステンレスマグの容量 以下の水を入れてください。(→P.15)
コーヒー粉がフィルターケース からあふれる	ミルクケースフィルターは正しく取り つけられていますか？	ミルクケースフィルターを正しく取りつけて ください。(→P.9)
コーヒーやコーヒー粉が フィルターからあふれる	ペーパーフィルターは正しく取り つけられていますか？	ペーパーフィルターを正しく取りつけて ください。(→P.13)
	計量スプーン3 3/4 杯を超える量の コーヒー豆(粉)を入れていますか？	計量スプーン3 3/4 杯以下で入れてください。 (→P.15)
	しずくもれ防止弁にコーヒー粉が つまっていますか？	フィルターケースをお手入れしてください。 (→P.21)
	フィルターケース・ミルクケースフィルター は正しく取り付けられていますか？	フィルターケース・ミルクケースフィルターを 正しく取り付けてください。(→P.8~9)
	細挽き粉を使っていますか？	細挽き粉を使わないでください。
	粉の量が多くないですか？	粉の量を減らしてください。(→P.14)
	スイングバスケットをしっかり閉じて いますか？	スイングバスケットを正しく閉じてくださ い。(→P.12~13)
	サーバーふたを正しく取りつけて いますか？	サーバーふたを正しく取りつけてください。 (→P.22)
	サーバーを正しく取りつけていま すか？	サーバーをサーバー台に正しく取りつけて ください。(→P.16)
	ステンレスメッシュフィルターとペー パーフィルターを重ねて使用したり、 ペーパーフィルターを2枚以上重ね て使用していませんか？	ステンレスメッシュフィルターのみ、または ペーパーフィルター1枚で使用してください。
運転中にブザーが鳴り、 ランプが点滅している	コーヒー豆を入れていますか？	差込みプラグを抜いたあと、ミルクケースを取 りはずし、コーヒー豆を取り出す。 お手入れをしたあと新しいコーヒー豆でや り直す。(→P.20)
	湿ったコーヒー豆を入れています か？	お使いになるコーヒー豆の焙煎度合いによ っては、上記に従ってやり直した場合でも再度 運転を停止することがあります。その場合は、 ミルクケースフィルターを「粗挽き」側に取り つけて運転してください。 コーヒーのできあがりが薄く感じられる場合 は、濃度調節を「濃い」に設定するか、コーヒ ー豆の量を調節してください。 (ただし、計量スプーン3 3/4 杯(約30g)を超 える量のコーヒー豆を入れないでください。)
運転中に「ピー」とブザーが 鳴り、運転が止まった	スイングバスケットやミルクケースふた を途中で開けていませんか？	安全装置がはたらいています。 コーヒー豆やコーヒーを捨て、お手入れしたあと 「使い方1」からやり直してください。(→P.11)
電源コードが熱くなる	ご使用中は、電源コードが熱くなる場合がありますが異常ではありません。	



故障かなと思ったとき

こんなときは	お調べいただくこと	直しかた
運転中にブザーが鳴り、ランプが点滅している 	コーヒー豆を入れ忘れていませんか？ 入れるコーヒー豆が少なすぎませんか？ コーヒー粉を使ったときに、「豆」キーを押していませんか？	①「入/切」キーを押す ②コーヒー豆を入れ、「使い方7-②」からやり直す(→P.18) 計量スプーン1 1/4 杯以上で入れてください。(→P.15) ①「入/切」キーを押す ②「使い方7-②」からやり直す(→P.18)
運転中にブザーが鳴り、ランプが点滅している 	金属受皿にコーヒーが漏れていませんか？	差込みプラグを抜き、金属受皿のコーヒーを捨ててください。(→P.20) お手入れしたあと、再度操作してください。
お手入れするときは…	差込みプラグをコンセントから抜き、本体を5分以上冷ましてからお手入れしてください。	

部品の交換・購入について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換(有料)してください。
- お買い求めの際には製品の型名および部品名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。(ホームページでのご購入はP.27「お客様ご相談窓口」参照)

	部品名	部品番号
消耗品	浄水カートリッジ	718849-00
部 品	ステンレスサーバー (サーバーふたセット付き)	SERECRS-BA
	サーバーふたセット	BG781821A-01
	ステンレスメッシュフィルター	BG781825A-BA
	計量スプーン	BG781140L-01
	ミルケースブラシ	718336-00
別売品	ポット内容器洗浄用クエン酸 ピカポット (30g×4包入り)	CD-KB03-J
	ステンレスボトル用洗浄剤 ピカボトル (10g×4包入り)	SB-ZA01

アフターサービス

1. 保証書の内容のご確認と保管のお願い
- 必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間
- ただし、浄水カートリッジは消耗品のため、保証期間内でも有料です。
3. 修理を依頼されるとき
- 「故障かなと思ったとき」(P.24～上記)をご確認のあと、直らない場合は使用を中止し、コンセントから差込みプラグを抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 《保証期間中》
- 製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。
- 《保証期間を経過しているとき》
- 修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後 5年間
- ※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
5. 修理料金の仕組み
- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
- 「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
- お客様ご自身での修理・分解や改造は絶対にしないでください。

仕様

型 名	EC-RS40
電 源	交流100V 50/60Hz
消 費 電 力	740W
容 量	最大使用水量 540mL
ミ ル 定 格 時 間	40秒
方 式	ドリップ式
コードの長さ	1.3m(ゴムコード)
外形寸法(約cm)	幅24×奥行25×高さ37.5
質 量	約4.4kg

- 外形寸法はステンレスサーバーのとっ手を除いた寸法です。
 - 特定地域(高い山・厳寒地など)においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はなるべくおさげください。
 - この製品は、日本国内交流100V専用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。
- This appliance was designed for use in Japan only where the local voltage supply is AC100V and should not be used in other countries where the voltage and frequency vary.
After-sales service for this appliance is not available outside of Japan.
此产品只针对于日本国内专用交流电压 100V 所设计。由于各国所使用电压或电源频率不同，请勿使用于其它地区。另亦无法对此提供售后维修服务。
此產品為針對日本國內專用交流電壓100V所設計。由於各國所使用電壓或電源頻率不同，請勿於其他地區使用。另亦無法對此提供售後維修服務。
본 제품은 일본 국내교류 100V전용으로 설계되었기에 전압이나 전원 주파수가 상이한 외국에서는 사용할 수 없습니다. A/S 또한 불가능합니다.

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター

**0120-345135**
※携帯・PHSからもご利用になれます。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

● 一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話での
お問い合わせ……………TEL (06) 6356-2451 (有料)

● FAXでのお問い合わせ……………FAX (06) 6356-6143 (有料)

製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・
FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」の個人情報は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために、弊社グループ会社および協力会社との間で共同利用させていただく場合がございますのでご了承願います。

ホームページのご案内		
象印マホービン	お客様サポートサイト	http://www.zojirushi.co.jp/toiawase/